

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和2年6月22日

鹿児島県知事 三田園 訓 殿

提出者

住 所 鹿児島県鹿屋市共栄町16番4号

氏 名 豊明建設株式会社

代表取締役 林 正英

電話番号0994-43-3322

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	豊明建設株式会社
事業場の所在地	鹿児島県鹿屋市共栄町16番4号
計画期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	大分類：建設業，中分類：総合工事業 小分類：一般土木建築工事業
② 事業の規模	昨年度の完成工事高 24億3339万円
③ 従業員数	39名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	建設現場の産業廃棄物→自社及び収集運搬業者にて運搬→産業廃棄物処分業者へ委託

（日本工業規格 A列4番）

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項									
(管理体制図)									
<table border="1"><tr><td colspan="2">産業廃棄物処理計画担当者 専務</td></tr><tr><td style="text-align: center;">↓</td><td style="text-align: center;">↓</td></tr><tr><td style="text-align: center;">土木部担当</td><td style="text-align: center;">建築部担当</td></tr></table>				産業廃棄物処理計画担当者 専務		↓	↓	土木部担当	建築部担当
産業廃棄物処理計画担当者 専務									
↓	↓								
土木部担当	建築部担当								
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
① 現状	【前年度 (R 1 年度) 実績】								
	産業廃棄物の種類	別紙 内訳表							
	排 出 量	別紙 内訳表	1 3 8 7 t						
	(これまでに実施した取組) ・ 可能な限り人力による解体を行い、細かく分別を行った。 ・ 劣化の進んでいない物や耐用年数を過ぎていない物は積極的に再利用を行った。								
② 計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	別紙 内訳表							
	排 出 量	別紙 内訳表	3 0 0 0 t						
	(今後実施する予定の取組) ・ 工作物の図面作成段階において、古い工作物でも作り直しをするのではなく修繕や改修等を行い、再利用できないか検討する。 ・ がれき類が大量に発生する現場においては、自走式破砕機を利用して再生材を作り出しそれを利用する。								
産業廃棄物の分別に関する事項									
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類, 金属くず, ガラス・陶磁器くず, がれき類, 木くず, 紙くず, 繊維くず, 建設混合廃棄物 ※分別に関する取り組み⇒下請け業者にも協力を要請し地球環境を守る為、分別の重要性を理解させる勉強会を開催する。								
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類, 金属くず, ガラス・陶磁器くず, がれき類, 木くず, 紙くず, 繊維くず, 建設混合廃棄物 ※分別に関する取り組み⇒下請け業者にも協力を要請し地球環境を守る為、分別の重要性を理解させる勉強会を開催する。								

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（R1年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	実績無し	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 特に無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	計画無し	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 特に無し		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（R1年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	実績無し	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 特に無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	計画無し	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 特に無し		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（R1年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	実績無し	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 特に無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	計画無し	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 特に無し		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（R1年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙 内訳表	t
	全処理委託量	別紙 内訳表〔3〕	1387 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙 内訳表〔4〕	1387 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 特に無し		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙 内訳表	t
	全処理委託量	別紙 内訳表	3000t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0t	t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙 内訳表	3000t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0t	t
	(今後実施する予定の取組) ・優良認定処理業者への委託を推進する。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

